

第4回厚木市複合施設実施設計・施工業務に係る技術提案書特定委員会 会議録

会議主管課	市街地整備課
会議開催日時	令和5年3月14日（火） 午後1時から4時50分まで
会議開催場所	厚木市役所第二庁舎 16階会議室
出席者	委員 6人 （欠席：なし） 事務局 都市整備部市街地整備課中町第2－2地区整備担当課長、 同部同課中町第2－2地区整備係長、 同部同課同係副主幹、副主幹、副主幹、主任
傍聴者	なし
公開日	令和5年3月30日（木）

会議内容は、次のとおりです。

令和5年3月30日に受注候補者が決定したため、厚木市情報公開条例に基づき、会議資料や会議概要を要点筆記した会議録を公開します。

受注候補者決定後の会議録
1 事務連絡 （1）審査手順等の確認（事務局） 2 質疑事項の確認 （1）事前質問シートの取りまとめ結果29件の報告（事務局） （2）ヒアリング事項の確認（各委員） 3 プレゼンテーション及びヒアリング ヒアリングの主な内容は次のとおり。 （1）あつぎプロムナード正面の外壁面意匠が気になるが、展開は。（委員） ⇒ 庁舎側、広場側の正面となるが、広場側のアスロックを連続させ、開口も広場側を連続させていくことを考えている。コストは決まっているが、3か月の調整期間の中で素材、開口、緑化などを検討・提案したい。（A社） （2）事業スケジュールについて、工程として複数案の提案をいただいた後に合意形成のため行政手続期間が必要と考えるがいかがか。（委員） ⇒ 設計期間の初期にコミュニケーションをとる時間をできるだけ確保したかったが、工期の32カ月を短縮することができなかった。設計着手後の3か月間で調整したいと考えている。設計期間がタイトなため、発注者にも協力をお願いしたい。（A社） （3）Z E B R e a d yを実現すると判断した根拠、実現するための検討ステップは。（委員） ⇒ ウェブクラウド上の標準入力法のモデルで検証済みとなっている。実施設計

に入る前に事前に確認したい。広場側は高天井のため、温熱環境のシミュレーションを行っていききたい。(A社)

(4) 大庇の提案は建設敷地外となるが、業務の中でどこまで検討するのか。(委員)

⇒ 将来的な変化にも対応可能な検討をしたいと考えている。(A社)

(5) 止水壁について。建物と止水壁の間隔が狭く、視認性が悪いため、暗い空間となる。水平方向の視認性を見直す余地はあるか。(委員)

⇒ 内部への視認性の必要性などを確認した上で、固定壁と可動壁の範囲などを検討していききたい。(A社)

(6) 防災拠点について。モニタリングシステムを導入とあるが、自然災害に対して構造性能の考え方をどのように考えるか。(委員)

⇒ モニタリングシステムは、加速度計を設置する予定。振動解析装置を行い、災害拠点にPCを設置しモニタリングを行う。また、基本設計図書に求められている耐震性能を満足したいと考えている。更なる提案はオプションとなるが必要に応じて検討していききたい。(A社)

(7) 根切の発生土について。地盤調査報告書は提示済みのため、汚泥処分を想定しているが、提示金額に見込んであるか。(委員)

⇒ シルト層の地層が中心のため、釜場工法での発生土処分による費用を見込んでいる。(A社)

(8) 地元貢献について。3割を地元に発注し、関連消費金額を合わせると77億円となるが実現性は。(委員)

⇒ JV出資金額は約束できる。消費についても、作業員200~300人の想定をしているため、問題ないとする。(A社)

(9) 感染症対策について医学的有識者の意見を反映とあるが、具体的な方策は。(委員)

⇒ 感染症対策の権威である医学部の先生とともにオフィス向けの感染症対策の指標を持っている。可動式机のレイアウトなど、ワークプレイスの運用なども今後反映できると考えている。(A社)

(10) 耐震上の地震動の研究が行われているが、今後政府から出される指針に対応するための追加検証は可能か。(委員)

⇒ 対応はできるが、技術的な助言が開示されないと目標とする性能が変わるため、コスト・計画が成り立つかは検討が必要。(A社)

4 評価及び受注候補者の特定

(1) 評価した点

ア 建築計画

(ア) あつぎプロムナードは、良い提案。その他の変更提案も評価できる。(委員)

(イ) 将来的な変化を見越した提案や厚木バスセンターや本厚木駅との連携方法など、建設敷地外の提案は、評価できる。(委員)

(ウ) 1階の広場的スペースは、にぎわいの観点では良いが、管理運営は引き続き課題。(委員)

- (エ) 現場でのモックアップ提案は、評価できる。(委員)
- (オ) 止水壁の提案は、評価できるが根本的な課題がある。(委員)
 - ⇒ 実施設計段階での検討が必要。(委員)

イ 設備計画

- (ア) Z E B R e a d y は、事前に標準入力法を行っている点や温熱環境に対する具体的な提案が評価できる。(委員)
- (イ) 感染症対策は、独自技術を用いた提案がされており、評価できる。(委員)

ウ 地域貢献

- (ア) 地域貢献の金額は、評価できる。(委員)

エ 施工品質

- (ア) 品質確保は、構造面での提案があった点は評価できる。(委員)
- (イ) 品質管理は、積極的に評価したい。(各委員)

(2) 課題となる点

ア 建築計画

- (ア) 住宅が近隣する公共複合施設ではある程度分節した設えとするのが一般的だが、外観の圧迫感の低減は課題。基本設計段階においても未解決事項のため、引き続き検討が必要。(委員)
 - ⇒ 実施設計での複数案の検討に期待したい。(委員)
 - ⇒ 広場側を文化施設としてのファサード、圧迫感の低減、工夫を期待したい。(委員)
 - ⇒ 横連窓がずれている点は課題。(委員)

イ 構造計画

- (ア) 構造に関する提案は一般的なレベル。(委員)

ウ 設備計画

- (ア) Z E B R e a d y の実現に向けて具体的な提案内容の整理が必要。(委員)

エ コスト関連

- (ア) コアの位置を変える提案があったが、採用が見送られた場合の懸念が残る。(委員)
 - ⇒ コストには反映されていないと想定される。(委員)
- (イ) コスト管理方法は、市の意向が前提となっている印象を受ける。(委員)

オ 工程・施工計画関連

- (ア) 工程短縮の提案が欲しかった。(委員)
- (イ) 厚木バスセンター側からの工事車両の搬出入の条件設定はいかがか。(委員)
 - ⇒ 大型の貨物車両は進入禁止になっている。北側からだとは進入可能という条件を提示していた。(委員)
 - ⇒ 既存デッキの干渉を考慮して南側の提案としていえるが、警察協議が必要。(事務局)
 - ⇒ 南側は、都市計画道路として幅員 12m を確保するため、搬出入がしやすいと想定した上での提案だと思われる。(委員)

⇒ 工事の円滑性、地元との関連性に配慮した提案といえるのではないかと。
(委員)

(3) 採点

各評価基準に基づく評価の結果、次のとおり、評価点数の合計得点をもって受注候補者を特定した。技術提案書の評価点については、各委員の採点を平均したもの。

	評価項目		配点	結果
提案者評価	提案者	(ア) 組織体制（単体企業、共同企業体等）	5.0	5.0
		(イ) 設計実績（庁舎、図書館等）	5.0	5.0
		(ウ) 施工実績（庁舎、図書館等）	5.0	5.0
	配置予定技術者	(ア) 庁舎等の実施設計業務実績	5.00	4.34
		(イ) 複合施設の実実施設計業務実績	5.00	3.40
		(ウ) 庁舎等の施工業務実績	2.50	1.04
		(エ) 複合施設の施工業務実績	2.50	0.20
	小計(1) ※小数第2位を四捨五入		30.0	24.0
技術提案書評価	【テーマ1】 本業務の実施方針	(ア) 本業務の取組方針や業務分担体制に関する提案 (イ) 設計施工一括型業務の特性を活用した事業スケジュールを実現するための提案	10.0	6.5
	【テーマ2】 実施設計業務の実 施方針	(ア) 基本設計を踏まえ、より魅力的・機能的・合理的な設計提 案 (イ) 設計施工一括型業務の特性を活用したコスト管理方策に関する設計提案 (ウ) 環境にやさしく、ライフサイクルコスト低減が図られる設計提案 (エ) にぎわいと防災拠点を両立する設計提案	30.0	20.8
	【テーマ3】 施工業務の実施方 針	(ア) 事業スケジュールに沿った実現性のある工事工程に関する提 案 (イ) 施工品質を確保するための方策及び確認に関する提案 (ウ) 近隣及び周辺環境に配慮した施工計画及び工事ステップに関する提案	15.0	10.3
	【テーマ4】 地域貢献	(ア) 厚木市内企業への発注予定金額の提案 (イ) 地域貢献に関する提案	10.0	8.7
	小計(2)		65.0	46.3
	価格評価	$10.0 \times [(\text{最低価格評価}) / (\text{当該提案価格})]$ $= 10.0 \times [(27,925,700 \text{ 千円}) / (27,925,700 \text{ 千円})]$	10.0	10.0
小計(3)			10.0	10.0
合計 (1+2+3)			105.0	80.3

(4) 受注候補者及び次点候補者の特定

ア 受注候補者

(ア) 事業者名
清水・小島・山王建設共同企業体

(イ) 提案価格／提案上限額
27,925,700 千円／27,926,118 千円

イ 次点候補者

なし

5 その他

(1) 今後のスケジュール

審査講評の作成スケジュールについて説明。(事務局)

⇒ (各委員了解)

以 上